

28年度 2学期

けんしん大学1月21日(土)

テーマ

地域企業の生産性向上と付加価値創造力の強化

第3回 地域資源講座

## 地域活性化のカギ！ ～観光産業の生産性向上～

旅館・ホテルをはじめとする観光産業は、人口減少による県内消費が縮小するなか、県外需要を取り込める産業として今後ますますの成長が期待されています。九州各地の観光地に影響を与えた熊本・大分地震からの復興を果たし、業務の生産性向上に積極的に取り組む意欲的な中小企業者を応援します。

講師



中川 賢二 氏  
中川賢二中小企業診断士事務所 代表

平成28年2学期  
カリキュラム

- 第1回 10/15 マネジメント
- 第2回 11/26 マネジメント
- 第3回 1/21 地域資源(観光)
- 第4回 2/25 地域資源(観光)
- 第5回 3/11 IT経営(IoTの活用)

※受講料無料  
※申込締切：1月18日(水)

### けんしん大学のご案内

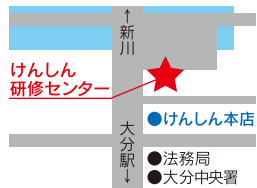
けんしん大学は同友会会員・組合員の皆様向けの無料講座です。お申し込みは、最寄りの支店、もしくは大分県信用組合ホームページからお申込みください。  
<http://www.oita-kenshin.co.jp/jyukou/>

【お問い合わせ先】  
大分県信用組合 総務人事部 人事グループ  
TEL 097-573-7260  
FAX 097-534-8581

### 会場のご案内

大分県信用組合  
研修センター2階  
大分市中島西2丁目4番1号  
TEL 097-573-7260

※駐車場は無料ですが台数が限られております。  
※会場は参加人数により異なる場合もございます。



本号におきましては、大分東部ブロック同友会、佐伯地区同友会、杵築同友会会員さまに取材のご協力を頂き誠にありがとうございました。これからも順次各地域の同友会への取材を企画しております。なお、紙面構成の都合により至らぬ点もあろうかと存じますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。  
(会報誌編集事務局)

2016.12  
Vol.23

大分東部ブロック同友会  
佐伯地区同友会  
杵築同友会

輝く未来のために

- 1 特集/TOP INTERVIEW  
有限会社 エム・シー・エヌ  
下村時計店  
有限会社 大分南部青果
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんからの「知っ得情報」

型にはめ過ぎないことを大事に、ディレクションの強さを発揮している。



## 空気感を大切にしたディレクションで魅力ある画を制作し続ける

東部ブロック同友会

[制作プロダクション]

有限会社 エム・シー・エヌ  
代表取締役社長 安部洋一氏

DATA

所 大分市大字羽田647-1

☎ 097-568-7799

🕒 9:00~18:00

📅 第1・3土曜、日曜 📍あり

事務所が建つのは、趣ある日  
本庭園を望む閑静な場所

テレビ放送番組やCM、PRビデオの企画制作、イベントの企画運営、広告代理業、報道映像など多岐にわたる業務を行っている制作プロダクション『エム・シー・エヌ』。代表取締役社長を務める安部 洋一さんをはじめとする6人のスタッフが、日夜作品づくりに取り組んでいる。

安部さんが映像制作の道へ足を踏み入れたのは昭和59年。「当時は糸井重里さんや仲畑貴志さんが活躍していて、華やかな業界に憧れがありました」ときっかけを話す。大学卒業後、大分市の映像制作機能をもつ会社に1年半ほど勤務したものの、会社があえなく倒産。そこから新たに映像制作会社へ入社し、ディレクターやプランナーとして経験を積んだ。そして、その時に縁あった仕事先で報道と制作の畑を歩んでいたのが、首藤 幸人現会長。「首藤さんは妥

協がない分、出来上がった映像が素晴らしい。とても尊敬できる方でしたね」。そんな首藤さんが平成9年に立ち上げた『エム・シー・エヌ』に、安部さんが入社したのが平成14年、その5年後に社長の座を譲り受けることになった。

ディレクターとして様々な映像制作に取り組んできた安部さんだが、「決め過ぎないこと」も一つの指針という。打ち合わせである程度の青写真は描くものの、「当日は何が起きるか分かりません。天候の変化もあれば、ハプニングもある。「人間万事塞翁が馬」といいますが、その場で起きたことを受け入れて、臨機応変に対応して編集作業で組み立てるようにしています」と話す。また、現場のスタッフとの関係性を大切にするのも信条。「たとえば現場で意見が食い違って険悪な雰囲気になれば、それがそのまま映像に表れると思うんです。リ

ラックスをした方が、いい画が撮れる気がしますね」とあくまでも柔らかい関係性を重視する理由を語る。

経験に裏打ちされた安部さんの作品への信頼はあつい。担当する番組、美術家・二宮圭一氏が大分市内を散歩するOCTの「あなたの街箱」は9年、中津市の魅力を紹介するOABの「ぐるっと中津」は12年など、長いスパンでレギュラーを任されている事がその証だ。またNHKの国宝探訪で富貴寺大堂、福岡県観世音寺の梵鐘を紹介した回の制作など、時間をかけた緻密な映像作りにも手腕を見せる。

制作を続ける中でも、常に新しい試みや面白い撮り方を探っている安部さん。「時代も変わるし、見ている人も変わっていく。それをくみ取りながら、追求していきたいですね」と目を輝かせる。



「ぐるっと中津」や「国宝探訪」など数え切れないほどの映像を制作



安部社長が映像をチェックしながら編集作業が進められている



スタッフとの意見を言いやすい、和やかな空気感を大切にしている

昨年創業90周年を迎えた『下村時計店』。初代はカメラや蓄音機などさまざまな機械修理の達人、先代は大分県で初めて誕生した時計修理技能士だったという。現在店を切り盛りするのは、3代目となる下村 亮介さん。今年の春には店舗を改装し、心機一転をはかった。とりわけ力を入れたという展示コーナーのショーケースには、カシオ、シチズン、セイコーなどの最新モデルが並ぶ。改装を決めた時には、今更展示コーナーを拡張するなんて、と心配されることもあったとか。しかし、実物を見て触られるというeコマースではできないサービスが、購入数の増加に貢献していると、下村さんは感じている。「携帯やスマホの普及で、時計が売れなくなった時期もありました。しかし、ファッション性や利便性などから、時計はこれからも必要とされるものです。アップルウォッチが登場したこともその証拠」と考え、勝負に出たことが功を奏したのだ。

こうして、3代目として家業を新たに展開すると同時に、下村さんは「城下町地区まちづくり協議会」の会長としても活躍している。この団体は中心街で事

業を営む経営者15名の、30~40代を中心とした集まりだ。美しく風情あふれる城下町であると同時に、シャッター街化や人口減少などの問題も抱える町・杵築。その問題を解決すべく、城下町全体のまちづくりと活性化を目指して活動中だ。昭和時代にあった夜市を復活させたり、観月祭やひいなめぐりといった市のイベントを手伝うなど、さまざまな活動を展開している。外部から講師を招いて開催するまちづくり講演会事業や、県の補助事業を活用した城下町の谷間の竹林整備事業、空き地・空き家の有効活用促進事業など、すべての活動は「自分たちのまちを、自分たちの力でよくしていきたい」、「子育て世代であり働き盛りの自分たちが、責任を持って次世代にこのまちの素晴らしさを伝えていきたい」という思いか

城下町ならではの店舗



ら。下村さんは、一度は地元を離れたが、やっぱり杵築が好きだという気持ちもあり、帰ってきた。「この気持ちを、次の世代の人たちにも持ってもらいたい。この先、都会でも田舎でも格差なく働ける時代がくるはず。その時に選ばれる場所であるよう、いいまちをつくっていくことが私たちの使命だと思っています」。地域のため、次世代のため、ミッションを果たすべく、下村さんは仲間とともにこれからも走り続ける。

## 3代目として家業を盛り立てながら愛する地域の活性化に奔走



ショーケースに並ぶ話題のモデルたち



下村さんのお母様が手作りするひな人形も展示



お土産コーナーもあり気軽に立ち寄れる雰囲気

杵築同友会

[時計販売]

下村時計店  
代表 下村亮介氏

DATA

所 杵築市本町152

☎ 0978-62-3016

🕒 8:00~20:00

📅 1/1、2、3

📍あり



## 産地確認を怠らず高品質の農産物を出荷 今後はさらなるブランドづくりに邁進

生産者組合やJA、九州管内の市場、契約栽培農家から青果物を仕入れ、県内外のスーパー、量販店、佐伯市の小中学校の学校給食などへ卸販売を行っている『大分南部青果』。年間を通じて安定供給を維持しており、輸入物は一切扱わずに国産のみ。農産物によって産地は全国各地に及び、たとえば柑橘類ひとつとっても、早生から晩柑、ポンカン、伊予柑と年間で多種類を揃え、大分をはじめ佐賀、熊本など季節ごとにさまざまな所から仕入れている。

『大分南部青果』を創業したのは、平成3年。代表取締役の小嶋 稔浩さんが、父親が経営していた青果市場を独立して自ら立ち上げたのだ。「今は仕入れた果物や野菜を、集荷場で選果して袋詰めしますが、その頃は袋詰め作業もスーパーや小売店のバックヤードで行っていました。ですので最初は袋詰め需要もありませんでしたが、少しずつ提案をしながら取引先も開拓しましたね」と自ら切り拓いた販路や販売方法の歴史を語る。

小嶋さんいわく、ここ4～5年で特に変化してきたのが、消費者が「量より質」を重視するようになったことだ。「多少高くても品質の良いものが売れるようになってきました。私たちも安全でいいものを仕入れるため、JAや市場の担当の方とこまめに連絡を取り合うのはもちろん、取り引きのある生産者のもとへは定期的に直接伺い、その年の状況を聞いたり味を確かめるようにしています」と徹底した品質確認を欠かさない。また、平成28年4月の熊本地震の後には、タイミングを見て益城町のスイカを仕入れ、佐伯の学校給食に取り入れるなど柔軟な取り組みも。「最近では異常気象が当たり前になっているため、猛暑による農産物の高温障害などの心配も増えています。天候を見ながら対策を立て、質の高い農産物をコンスタントに供給していきたいですね」という。

小嶋さんの徹底した品質管理が実を結び、現在ではスーパーだけでなく個人からも直接、贈答用や都会に住む



さまざまな果物や野菜を選果して梱包を行う集荷場



店頭販売は行わないが、連絡をすれば個別配送を受け付けてくれる

### 佐伯地区同友会

[青果卸]

有限会社 大分南部青果  
代表取締役 小嶋稔浩氏

DATA

〒 佐伯市上岡116-15  
☎ 0972-22-1608  
営業 7:00~17:00  
☎ 日曜、祝日 ☑あり



袋詰めや箱詰めは、すべて手作業。最近では単身用も増えている

子供に送りたいなどの要望があり、宅配を頼まれる事も増えているとか。「少しでも新鮮なものがいいという声が多く、ありがたいことに口コミも広がっているようですね」と頬を緩ませる。

今後の目標は、消費者のニーズを反映した農産物を生産者に作ってもらうなど、付加価値をつけたブランドづくりを行うこと。「消費者と生産者の橋渡しをしながら、農業や肥料のこと、食べ方まで幅広く提案したいですね」と抱負を語ってくれた。



### 「杵築に来てよかった」と 思ってもらえる場所をつくりたい

江藤工業 有限会社  
取締役 江藤 順子さん



ゆっくりと上品に、非日常の時間が流れる

DATA

[建設業、観光業]  
台の茶屋(江藤工業有限会社)  
〒 杵築市大字杵築208-1  
☎ 0978-62-0330  
営業 10:00~16:30(LO16:00)  
☎ 水曜日、年末年始  
☑ 市営駐車場利用

城下町・杵築のなかでも、上級武士の屋敷跡が残り独特の風情を漂わせる、北台の武家屋敷通り。この通りに佇む「能見邸」には、「台の茶屋」という和風喫茶が併設されており、歴史ある格式高い空間で美しい庭園を眺めながら、お抹茶や和菓子を楽しむことができる。店を切り盛りするのは江藤順子さん。土木・建設関係の公共工事などを請け負う江藤工業有限会社の取締役であり、台の茶屋を始めるまでは経理を担当したり、工事現場にも出ていたという。

「移り変わりの激しい今の時代、建設業以外の別の事業、しかも地域のためになるようなことをしたい」と考えていた江藤さんにチャンスが巡ってきたのが7年前。能見邸を活用しようと市が募集し

た企画コンペで、江藤さんが娘さんと一緒に考案した特産品紹介や案内所を兼ねる休憩所設置案が、見事採用されたのだ。もともと料理やお菓子づくりが好きだったこと、店で必要となる器も長年趣味で集めていたこと、能見家と40年来の付き合いがあったこと、家族・従業員全員が応援してくれたことなど、さまざまな導きやサポートもあって実現したという。開業以来、店長として企画・運営を切り盛りしてきた心強い味方・三女の友佳さんをはじめ、市の関係者、パートナーと力を合わせて、「杵築に来てよかった」と思われる場所を目指して頑張ってきた結果、これまでに県内外はじめ、海外からの観光客や大使、皇太子様までお立ち寄りになれるほどの「杵築の顔」に育った台の茶屋。杵築を盛り上げることはもちろん、「地元の若い人や女性の活躍の場として機能させていけたら」と、江藤さんは微笑んだ。

## キラリ新風力 ふわり爽風力

New Wind & Fresh Power

### 確かな品質の木材を徹底管理し 深く長い信頼関係を築く

専門業者から木材を仕入れ、建具や家具、木工関係の業者を中心に卸販売を行う『進栄木材有限会社』。倉庫には何十種類もの木材が積まれており、仕入れから販売まで徹底した品質管理が行われている。代表取締役の古庄 宗之さんが、勤めていた材木店を辞めて会社を立ち上げたのは25年前。後継者不足などで取引業者の廃業が多くなる昨今、大切にしているのは信頼関係だ。「1本として同じ材木はありませんし、単価も自分で決めます。確かな品質の木材を適正価格で販売するのが基本ですが、明らかに他の業者から購入する方が得な場合は、そちらで買うようすすめることもあります。商売は『損して得とれ』といっ

て、損しても信用をとるのが大事。その信用があれば最後には結果を出せますから」と自らの姿勢を貫く。また必要とされれば、たとえ少量で遠方でも木材を届ける。フットワークの軽さと真摯な仕事ぶり、そして建具や家具の業者を対象とする会社が県内唯一であることから、取引先は大分や熊本、福岡、宮崎、長崎など120社近くまで及んでいる。

古庄さんがもう一つ大切にしているのが、社員との信頼関係だ。「皆が材木の仕入れから販売、売り上げの回収まで自分で行っています。何かあれば私が責任をとりませんが、社員を信頼していますから基本的に口は出しません」と器の大きさを見せる。「これからも、仕入れ先とお客さまを大切にする心を忘れずにいて欲しいですね」。古庄さんの実直な精神が宿った会社は、長きにわたり歩み続けていく。

DATA

[木材全般]  
進栄木材 有限会社  
〒 大分市大字松岡2059-2  
☎ 097-520-2000  
営業 8:30~17:00  
☎ 第2・4土曜、日曜、祝日 ☑あり



外材や杉、檜など十種類もの木材を、倉庫で乾燥させながら徹底管理を行う



進栄木材 有限会社  
代表取締役 古庄 宗之さん

写真撮影

くどう写真館

## 家族の温もりあふれる時間が色褪せない思い出に



撮影は1ポーズ9720円で、六つ切り写真が4935円

創業は1933年。3代目の工藤正浩代表が明るい笑顔で迎えてくれる、地元で愛される写真館。「家族の温もりあふれる写真を撮りたい」という工藤代表の言葉通り、館内の至るところに飾られるのは、様々な家族の温かな笑顔あふれる写真ばかりだ。目指しているのは、「正装して構える」写真ではなく「ちょっとお洒落して」という気軽な気持ちで足を運べる写真館。最近では七五三や成人式などの節目はもちろん、誕生日や結婚記念日といったイベントで訪れる人も多いという。スタジオでは子供の貸衣装が無料という特典があるほか、自宅への出張や屋外での撮影にも応じてくれる。アルバムや額縁用など希望の形で仕上げてくれるので、記念や贈り物にもおすすめだ。



所 大分市南鶴崎3-2-5  
☎ 097-527-3548  
🕒 9:00~19:00(土日祝日は9:00~18:00)  
🚫 火曜 🅐 あり



ホテル業

株式会社ホテル金水苑

## 由緒あるホテルで会食、宿泊、宴会を満喫



日本料理店のある本館。宿泊はすぐ隣にある新館で

佐伯駅や港からほど近い場所にあるホテルは、そのアクセスの良さで、50年前の創業時から大分県南地域の観光やビジネスの拠点として利用されてきた。厳選食材を使用する料理や、温かく丁寧なおもてなしに定評がある。100の客室には、一人部屋や和室タイプもあり、一泊二食付で10800円～。季節によって伊勢エビやふぐなど、近海で獲れる新鮮な魚介類などを使った料理を堪能できるのも、このホテルの魅力といえよう。宿泊や、館内にある日本料理店「番匠亭」はもちろん、宴会や婚礼、会議などでの利用も多く、最大300名までの大人数にも対応できる。忘年会シーズンは飲み放題込み5000円～のプランがおすすめです。



飲食業

有限会社若栄屋

## 杵築のお殿様も絶賛した門外不出の味を多くの人へ



「うれしのセット」1800円。能舞台のある「北の丸」は要予約

杵築藩のお殿様に愛され、江戸時代から多くの人々の舌と胃袋を満足させ続けてきた鯛茶漬「うれしの」。その味の決め手となるのは、鯛の甘みを引き出し、杵築特産の日本茶とも絶妙な相性を見せるごまダレだ。ゴマのすり加減や煎り加減、醤油との合わせ方など、一子伝で受け継がれてきた逸品で、現在16代目となる後藤源太郎さんも、その味を大切に守り続けている。また後藤さんが16代目となって10年経つことから、今後、杵築観光と食文化をさらに楽しんでもらうための新たな取り組みを考案中。杵築でも捕れる大分の鰯や姫島特産の車エビ、姫ダコとごまダレを合わせる新メニューや、「うれしの」のイベント出展、また宿泊施設の設置も視野に入れるなど、ますますの進化が期待される。



所 杵築市杵築665-429  
☎ 0978-63-5555  
🕒 11:00~21:00(「うれしの」注文は11:00~15:00-それ以降は要予約)※混み合うこともあるため、11:00~15:00も予約が確実  
🚫 なし 🅐 あり



自転車販売

スポーツショップのだ

## アットホームで頼れる町の自転車屋さん



夫婦仲良く、笑顔で迎えてくれる店

「お客様の満足のため、人のご縁を大切にしながら、地域を見守っていきたい」という店主の野田勝利さんが、脱サラして奥様と二人三脚で始めた店は、昭和49年の開業以来、地域で頼りにされ続ける「町の自転車屋さん」。プリチストンやミヤタ、パナソニックなどのメーカーを中心とした、乗り心地が良く長持ちするものを、繁忙期には70~80台取り揃えている。ロードバイクや電動アシスト、原付自転車など、子どもからお年寄りまで、さらに趣味向けや通勤用など、使う人の年代やライフスタイルに合わせて購入のアドバイスをこなったり、修理やメンテナンスといったアフターフォローもしっかりしてくれると評判の店だ。



カラオケ、コンビニ、ランドリー...

ランドリーこや

## 地域の人々の憩いの場であり暮らしを支える拠り所



カラオケルームは1部屋1時間1000円(18時以降2000円)

カラオケルーム、コインランドリー、精米所、佐川急便の取り次ぎというそれぞれ異なる形態の業種を集合させた『ランドリーこや』。敷地内にはスーパーマーケット神田楽市があり、コインランドリーで洗濯をしている間に買い物が出来たり、精米した米をそのまま宅配で配送したりと、使い勝手の良さで地域の人にとって欠かせない存在となっている。またカラオケルームは、最大収容人数15人と20人というゆとりある2部屋を備えている。うち1部屋にはピアノも置かれていて、自由に演奏することもできる。何より嬉しいのが飲食物の持ち込みがOKというところ。日々の暮らしや憩いの時間を支えてくれる力強い味方だ。



所 杵築市山香町大字内河野2540-3  
☎ 0977-75-0100  
🕒 24時間(宅配受付のみ8:00~18:00)  
🚫 なし 🅐 あり



洋菓子製造

パティスリーマルシェ

## 季節感が散りばめられたデコレーションと味に夢中



人気のマルシュー税込170円、よくばりシフォン税込700円など

白い塗り壁にイギリスの煉瓦が映える。カウンターの奥に光るのは可愛らしい赤色のオープン。まるで雑貨屋のような雰囲気にもまれた店内には、オーナーシェフの甲斐雅俊さんが手間ひまかけて作ったたくさんの洋菓子が並ぶ。店名の「マルシェ」はフランス語で「市場」。四季折々の材料や果物を使い、市場のように色々な人に気軽に訪れて欲しいという思いが込められている。県産の朝採れ卵や阿蘇の牛乳、九州の小麦粉など、ベースとなる材料もできるだけ近郊のものを用いているのもこだわりだ。注文を受けてクリームを詰めるサクサク生地の「パイシュー」や「マルシュー」、季節でデコレートが変わる「よくばりシフォン」など、どれもリピートしたくなる味わい。

